

教科(科目)	外国語(英語コミュニケーションⅢ)	単位数	4単位	学年	6学年
使用教科書	東京書籍 『ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION Ⅲ』				
副教材等	東京書籍 『ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION Ⅲ WORKBOOK』、Z会「速読英単語」(必修編)、桐原書店 『英語長文問題演習』、Z会『英文読解Focus 和訳編重要構文90』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①幅広い教養を身につけ、他者と協働しながら、粘り強く挑戦し続け、地域社会や国際社会に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成します。 ②主体的、自律的な人間として、行動力にあふれ、自他を大切に思いやりの心とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成します。 ③主体的に学ぶ力を身に付け、社会における課題等に気づき、創意工夫、試行錯誤を重ね、その解決のために行動できる人材を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、発達段階に応じて1・2年を「基礎の充実」、3・4年を「発展・挑戦」、5・6年を「自律・深化」に分け、学習内容の確かな定着、主体的で対話的な学習態度の育成を図りながら次の教育活動を展開します～ ①総合的な応用力、学問への探究心を育むとともに、知識や技能を活用するための思考力、判断力、表現力を育成する課題解決型の授業を実施します。 ②他者とコミュニケーションを取りながら、地域社会や我が国の魅力を国内外に発信できる知識・技能等を高めるための学習活動を実施します。 ③身に付けた力を社会で発揮するため、地域貢献活動、社会体験活動への参加を推進します。 ④自己肯定感を高め、他者を思いやり、多様性を理解する態度等を育成するため、系統的な特別活動や学年を超えた多様な体験活動を実施します。

2 学習目標

英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成することを目指す。

日常的・社会的な話題について、支援をほとんど活用しなくても、

- (1) 聞くこと 必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
- (2) 読むこと 必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
- (3) 話すこと〔やり取り〕 多様な語句や文を用いて、目的や場面、状況などに応じて情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり、課題の解決策などを論理的に話して伝え合ったりすることができる。
- (4) 話すこと〔発表〕 多様な語句や文を用いて、目的や場面、状況などに応じて情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができる。
- (5) 書くこと 多様な語句や文を用いて、目的や場面、状況などに応じて情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができる。

3 指導の重点

進学希望者が多いことから、

- ① 聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を行い、基本的な言語事項の習得を目指します。文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。
- ② 言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成することを目指します。
- ③ 自分の考えや気持ちを英語で表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを英語で話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりしている。	英語の背景にある文化に対する理解しようとしている。 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。

5 評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・課題等の提出 ・パフォーマンステストの分析 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・言語活動の取り組み状況の観察 ・パフォーマンステスト ・課題レポートやワークシート ・振り返りシートの記述の分析 ・課題等の提出 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・言語活動の取り組み状況の観察 ・パフォーマンステストの取組の観察 ・課題レポートやワークシート ・課題等の提出 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	Unit 1 What thinking and study habits can help us succeed?	1 4	勉強や仕事に有効な考え方や習慣について学ぶ。	〔言語活動〕 勉強の悩みについて助言し合ったり、効果的な勉強法を話し合ったりする。 〔言語の働き〕 似た経験を述べ合う、言い換える	1 4	ワークブック ワークシート 取り組みの様子 振り返りシート
5 ～ 6	Unit 2 How can we use AI to improve education?	1 4	AI の進化と社会に与える影響について学ぶ。	〔言語活動〕 教育において AI がもたらす利点に関するエッセイを書く。 〔言語の働き〕 希望を述べる、賛成する、疑念を示す	1 4	ワークブック ワークシート 取り組みの様子 振り返りシート
	Academic Listening and Speaking	4	人工知能（チャットボット）が人類のパートナーとなり得るかを考える。	〔言語活動〕 チャットボットについての説明を聞いて、自分の意見を述べる。 〔言語の働き〕 主張を述べる、見聞したことを述べる、理由を説明する	4	ワークシート 取り組みの様子 振り返りシート
	前期中間考査	1			1	

	Unit 3 What do folktales tell us about human values?	1 4	文化人類学の観点から、世界の民話の特徴や類型を学ぶ	〔言語活動〕 民話を語り、その教訓について話し合う。 〔言語の働き〕 意見を受け止める、別の意見を述べる	1 4	ワークブック ワークシート 取り組みの様子 振り返りシート
7	Unit 4 What items would you place in a time capsule?	1 4	「タイムカプセル」に残された物から何を学べるか、未来に向けて何を残したいかを考える。	〔言語活動〕 学校や地域の象徴として何をタイムカプセルに入れるかを話し合い、発表する。 〔言語の働き〕 賛成・反対する、提案する	1 4	ワークブック ワークシート 取り組みの様子 振り返りシート
9	Unit 5 What are the rewards and challenges of living in a different culture?	1 4	古今東西の事例から、異文化の中で暮らすことの意義と困難について考える。	〔言語活動〕 異文化の中で暮らすことで得られるものと直面する困難についてエッセイを書く。 〔言語の働き〕 理由を述べて断る	1 4	ワークブック ワークシート 取り組みの様子 振り返りシート
	前期期末考査	1			1	
10	Unit 6 How can art be made accessible to all?	1 4	だれもが楽しめる芸術のあり方について考える。	〔言語活動〕 芸術作品を描写したり、作品から感じたことを話し合ったりする。 〔言語の働き〕 相手の発言を訂正する	1 4	ワークブック ワークシート 取り組みの様子 振り返りシート
11	Unit 7 How can we preserve life below water?	1 4	持続可能な社会のための資源の開発や養殖の取り組みについて知る。	〔言語活動〕 身近な魚について、その生態や問題に関するレポートを書く。 〔言語の働き〕 勧める、断る、理由を尋ねる	1 4	ワークブック ワークシート 取り組みの様子 振り返りシート
	後期期末考査	1			1	
12	Unit 8 Is there anything money can't buy?	1 4	スポンサーシップや命名権などの金銭と倫理の問題について知る。	〔言語活動〕 学校の命名権を売ることについて意見を述べ合う。 〔言語の働き〕 提案する、意義を示す	1 4	ワークブック ワークシート 取り組みの様子 振り返りシート
1 ～ 2	大学入試問題演習 大学入学共通テスト対策問題演習	2 0	大学入試問題演習	・言語、コミュニケーション、文化、宇宙、化学、社会、環境、遺伝子、健康、動物、物語、歴史、教育、科学技術、心理、国際、経済、伝記 等を扱った長文読解演習 ・大学入学共通テストに準じた問題演習	2 0	ワークブック ワークシート 取り組みの様子

3	大学入試問題演習	7	大学入試問題演習	・言語、コミュニケーション、文化、宇宙、化学、社会、環境、遺伝子、健康、動物、物語、歴史、教育、科学技術、心理、国際、経済、伝記 等を扱った長文読解演習 ・大学入学共通テストに準じた問題演習	7	ワークシート 取り組みの様子
---	----------	---	----------	--	---	-------------------

計146時間 (48分授業)

7 課題・提出物等

- ・ワークシート、課題レポート
- ・ワークシートや振り返りシートの提出や、ライティングやスピーキングのパフォーマンスのテストを行います。
- ・適宜大学入試対策課題もあります。

8 担当者からの一言

英語の学習には「聞く」、「話す [やり取り・発表]」、「読む」、「書く」の4技能5領域のバランスが重要です、様々な題材を通して、自分の考えを深め、積極的に英語で意見を伝え合いましょう。また、英文を読み書きする際には、背景知識が必要です。普段からニュースや新聞などを利用して、多くの情報に触れてください。

(担当：氏 名 高松、山崎、渡邊千)